

ようになりたいと思っているし、親も子供に尊敬されたいと思っている。でも、尊敬している、大好き、と素直に言えないから、ぶつかったら。いづれにしろ親は我慢、我慢の連続だね。私だって、米倉君が尊敬する人物を三人選ぶとしたら、せめてその三人目には、私を入れてほしいなと思いますよ（笑）。

——親と子という一番近い存在だからこそ、難しいですね。満足会は双方の考えを言い合える場として親子の関係に良い影響があると思うのですが、いかがですか。

**岸上** 満足会で息子さんにもお会いしますが、少しずつ、周囲の意見を聞き入れる余裕が出てきているように見受けられますよ。他のメンバーからも、素直になってきた、という声も上がっているしね。彼は、本当は「お父さん大好き」なんです。ところがそれが素直に出せない。とにかく気に入らない。でもそれは親子だから仕方ないことです。

**曾根** 満足会はまさに地獄に仏のような存在ですよ。息子は多くを学んでいるだろうし。私も承継の難しさについて真剣に考えるきっかけを与えてもらって感謝しています。息子

# 曾根 正昭氏

曾根 正昭 67歳  
血液型 O 型  
有限会社エム・アンド・ピース  
代表取締役  
事業内容／美容業。業務委託業。  
山梨県内で曾根根理美容室、(有)エム・アンド・ピース、(株)オーク商事、曾根コーポレーションなど4社を経営。現在、グループ店舗25店舗。長男、長女にそれぞれ5店舗ずつ譲渡し、フランチャイズ契約を結んで事業を承継している。



は40歳で経営者として踏み出しましたが、それまでは社員としての教育だけで、経営者としての教育を受けないことはありません。だから分からないことは何でも私に聞きにこい、と思っています。本人が苦しかったら来るだろうと。それまでは静観しようと思っています。お互いに頑固者だし、なかなか状況は動かない

でしょうけどね（笑）。

**岸上** それでは何も変わらないですよ。こちらから踏み出していかないと。奥さんやお嬢さんは、曾根さんと息子さんの関係を本当はハラハラしながら見ていると思いますよ。親は100歩、200歩譲って、子供の言ってくることを認めてやる。聞いて

てやらないとね。そしてぶつかったら。親は事業経営の先輩だけど、事業承継には先輩も後輩もない。親子の双方が初めて臨む仕事であり、成し遂げるためには共同作業が不可欠です。親は胸を貸すつもりで、大きく構えることが大切。ほんとに、事業拡大よりもずっと難しいですよ。

——ところで、現在曾根さんが経営する15店舗をはじめとした本業の承継についてはどのようにお考えですか。

**曾根** いつ頃どうにかしようとか、まだ思案中です。全部なくなると気持ちの持って行き場にも困るでしょう。現在67歳ですが全てを承継する境地には至っていません。子供たちが今の5店舗をしっかりと経営できるようになって、本体を継いでも重荷に思わないうらい成長したら、それが承継の時でしょうか。全てを子供に承継するか、一部はスタッフに任せるのか、それもわかりません。私が歳をとって邪魔になる前にはなんとかしないとね。役職名を変えれば良いと言うものではないし、完了までには何年もかかる。こう考えたと事業承継とは本当に難しい仕事です。先は長いですから、まだまだ元気でがんばらないといけませんね。